



管理部 総務人事グループ 藤原 様



製造技術部 電気係 杉山 様



製造技術部 電気係 百瀬 様

講話内容

- ・ 地域企業における DX の取組
- ・ 企業の紹介（会社概要、事業内容、仕事内容、製品開発内容等）
- ・ 講師の取組み等 など

学生のワークシートから抜粋

【わかった企業情報等】

- ・ 非鉄金属製造業⇒鉄でない金属（黄銅）を扱う。
- ・ 茅野市の企業
- ・ スクラップを溶かして棒状にしたのち、加工して黄銅製品を作っている。
- ・ 使われなくなった金属を溶かし、再利用している。エアコンやトイレ、蛇口、バルブ、ペンの先、空気入れの先、時計などに使われている。
- ・ 銅の棒の数を AI で数えている。
- ・ 手書きだった検査表を自動打ち出し（誰でも手早く使用できるをモットーに）
- ・ 重なり傷という凹んだ部分を自動で見つけ出す取組をしている。
- ・ 製造の持続化、製造の良化、製造の情報化、新技術の導入、の4つにより利益貢献している。

【気づいたこと・学んだこと等】

- ・ 使えなくなった金属を溶かして再利用するというのはなんだかエコで良いなと思いました。
- ・ 黄銅の使われているものが水まわりのものが多いなと思いました。
- ・ 自分がいつも使っているガスコンロやペンなどにも使われているので、すごいなと思いました。
- ・ 金属のリサイクルはとても重要と思いました。

- ・DXの「D」にこだわりすぎるのも良くないことだと思った。
- ・身近な物を色々作っていてすごいと思いました。キッツメタルワークスさんのことは全然知らなかったのが今回知れてよかったと思いました。
- ・とても良さそうな会社で、機械を作るのが楽しそうだった。
- ・DXは、ただのスローガン。スローガンの本質は企業変革力の強化。企業変革力とは感知、補足、変容、の力である。また、突破力があると良い。
- ・DXとは周りのまねをするのではなく、自分の会社に何が足りなく何を解決すれば会社が発展するかを考えることだとわかった。
- ・どのくらいの金属くずで、金属の棒1本になるのかなと考えた。
- ・DXの考え方の説明で、今までと違った視点でのDXについて考えられる講義でした。
- ・けっこう真っすぐにものを言ってくれる方でおもしろかった。個人個人が考えるDXっていうのもけっこう楽しいかもしれないと思った。
- ・いろいろなDXについての意味など聞いて、自分でもDXとは何かもう一度考え直して、社会に出たときにいかしたいと思った。
- ・DXの本質を理解するのは大切だと思った。未知や困難を乗り越える力も大切だと思った。
- ・突破力をつけるために社会の勉強、マナーやボキャブラリーを増やしておきたい。
- ・今回の話を聞いて、どんな会社なのかということが分かり、DXについても分かった。
- ・DXについていろいろな考えをお聞きして、様々な取り組みをされていておもしろかったです。
- ・メタルワークスさんのことやDXの事がよく分かったのでよかったです。